

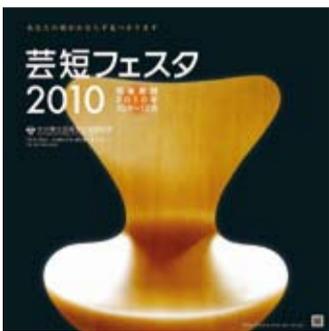
Epistula

エピストウラ … epistula,ae,f. 手紙、文章【ラテン語】

vol. 21

2010.10【Oct.】-12【Dec.】

「芸短フェスタ2010」開催!



2006年から始まった「芸短フェスタ」は今年で5回目。今回も10月から12月まで、3か月間にわたり30を超えるイベントを開催します。各種作品展や演奏会、創作音楽劇、ワークショップ（公開講座）、講演会など、県内各地で多彩なイベントを予定しています。

音楽科が総力を挙げる「第46回定期演奏会」は10月11日（月・祝）に開催。今回は多くの方が来場できるように昼公演（開演13:30）としました。芸文短大合唱団による混声合唱「リトルジャズミサ（チルクット作曲）」、同管弦楽団によるチャイコフスキーやストラヴィンスキー、ベートーヴェンのオーケストラ曲などを演奏します。10月30日（土）、大分市中心部のガレリア竹町ドーム広場

を中心に行う「国際文化フェスタ」は内容の多彩さで話題を呼びそうです。美術科が行う「ふるさとスケッチ」は杵築市と九重町宝泉寺の2か所で実施。今年4月に開設した芸文短大竹田キャンパスでは、「長湯温泉ゆ日韓短編映画祭」やサービスマーケティングの一環としての「スローライフ講座～竹田食育ツーリズム」、美術科卒業生による合同美術展などを行います。

中山学長自らがプロデュースする「学長プロジェクト」として、「手織りの魅力～誰でもできる織り物ワークショップ（小坂恵子氏）」、講演「アジアは一つになれるのか（黒田篤郎氏）」を予定しています。

このほか、10月23日、24日の両日、本学学友会主催による「第49回芸短祭^{いりどり}～彩～」を開催。毎年恒例のファッションショーや大抽選会、お笑い芸人によるステージを企画しています。

芸術の秋、文化の秋。「芸短フェスタ」で“あなたの席”が必ずみつかります。

※各イベントの内容は、芸文短大ホームページ（<http://www.oita-pjc.ac.jp/>）で随時お知らせいたします。

GEITAN presentsに 本学OG・木下美穂子さんが出演!!

今年で3回目の開催となる「芸短フェスタ」のメインイベント『GEITAN presents The Great Artists』は、「木下美穂子ソプラノリサイタル」をお贈りします。

木下さんは本学音楽科を卒業後、武蔵野音楽大学大学院、二期会オペラスタジオを修了。日本音楽コンクール第1位、日伊声楽コンクール第1位、イタリア声楽コンクール・シエナ大賞を同一年度で受賞し、国内三大声楽コンクールの三冠王として大きな話題を呼びました。海外でも数々の栄誉に輝き、現在はニューヨークを拠点に国際舞台へと活躍の場を広げています。

今回は、賛助出演として愛甲久美准教授、行天正恭准教授が第2部のオペラ『蝶々夫人』ハイライトに出演する予定です。

GEITAN presents The Great Artists木下美穂子ソプラノリサイタル

日時：11月29日（月）開場：18:00 開演18:30

場所：iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール

入場料：全席指定 S席：2,000円 A席：1,000円

チケットのお求め

・トキハ会館3階プレイガイド

TEL:097-538-3111

・芸術文化短期大学 広報室

TEL:097-545-0542



オープンキャンパス 今年も大盛況!!

22年度第1回目のオープンキャンパスが、7月18日（日）に開催しました。連休中にも関わらず488名の参加があり、大講義室が手狭に感じられるほどの盛況ぶりでした。当日は全体説明会のあと各学科の紹介、授業内容の説明、ミニ講義や在学生との対話などが行われたほか、各学科の教員による個別の入試説明会も行われました。また、音楽科・美術科による音楽講習会や美術実技模擬試験も同時開催しました。来場された方には、ホームページや各種学校案内では伝わらない、生のキャンパスライフを体験していただけたのではないのでしょうか。今回のオープンキャンパスが、受験生や保護者のみなさまの今後の学校選びの参考になればと願っています。



音楽科ミニコンサート▲

創立50周年記念実行委員会が発足

芸文短大は1961（昭和36）年4月、別府市に設立されました。来年2011年4月に創立50周年を迎えます。この間、現在地の太田市への移転や美術科・音楽科に専攻科を設置、国際文化・情報コミュニケーション学科の増設など大きく発展し、人材育成・地域貢献をはじめ、本県の発展に尽くしてきました。卒業生も1万2千人を超えました。

そこで、創立50周年を記念したプロジェクトを検討する実行委員会（委員長・中山学長）を6月9日に立ち上げました。委員には学内理事、各学科長のほか、後援会、同窓会、学友会など学外の方も加わります。別に記念誌編集委員会も設置しました。50周年を記念する式典やイベント、新ビジョンの発表など、「芸文短大50年」を県民に強くアピールできるプロジェクトになるように検討していきます。

21年度業務実績 教育研究部門で高い評価

8月3日、大分県地方独立行政法人評価委員会（矢野利幸委員長）は、芸文短大の21年度業務実績について、「全体として計画を順調に実施している」と評価する報告書を発表しました。評価は「教育研究の質の向上」や「業務運営の改善及び効率化」「財務内容の改善」など、5項目ごとにS、A～Dの5段階で判定します。

芸文短大は平成18年度に公立大学法人に移行し、毎年度、同委員会から評価を受けてきました。これまですべて5項目ともA評価（計画どおり実施）でしたが、今回初めて、「教育研究の質の向上」部門で、最高評価のS（特筆すべき進行状況）評価を受けることができました。「外部研究資金の獲得に向けた積極的な取り組み、教育環境の充実、学長プロジェクトによる公開講座など地域と連携を進め、開かれた大学づくりに努力が払われていること」などが認められました。

授業料引き落としのお知らせ

後期授業料は10月27日（水）に指定された金融機関の口座から引き落とされます。

※10月26日（火）迄に授業料（195,000円）のご入金をお願いします。

News 4

芸文短大 学科ニュース

美術科

▶ 専攻科の学生が ポスターを制作しました！

大分市とJICA九州主催で行われる「おおいた国際協力啓発月間 in 2010」のポスター（写真右）を本学専攻科造形専攻1年・原 恵里奈さんがデザインしました。微笑む口元とともに、2つの輝く地球が世界を見つめる眼差しになっていて、とても印象深くて親しみのもてる作品です。

また、九重町の宝泉寺温泉旅館組合からは名月の秋を楽しむ「観月祭」のポスターデザインの制作依頼があり、専攻科造形専攻1年・小野 智子さんの作品（写真左）が採用されました。名月を觀賞するイベントにふさわしく優雅で情緒あふれるデザインは、秋の宝泉寺温泉を華やいだ雰囲気にしてくれることでしょう。



▶ NHK交響楽団団員による 特別公開レッスン開催

本学と大分県文化スポーツ振興財団の協定により結成された「iichikoグランシアタジュニアオーケストラ」の指導に来県している、NHK交響楽団団員による特別公開レッスンが8月3日～5日、本学で行われました。今回は、フルート・甲斐雅之氏、ヴァイオリン・松田拓之氏、篠崎史紀氏（写真左）、ヴィオラ・小野富士氏、クラリネット・松本健司氏、トロンボーン・池上亘氏によるレッスンが行われ、20名の管弦打コースの学生が受講しました。



音楽科

国際文化
学科

▶ 竹田キャンパスで 合同ゼミ合宿をしました

7月3、4日、日本文学とフランス文学ゼミが合同で、ゼミ合宿を竹田キャンパスで行いました。初日は、それぞれのゼミに分かれての勉強会や研究発表。野坂ゼミは川端康成を中心に、永田ゼミは、〈フランス古典演劇〉や〈カルメン〉など、各自が卒業研究であつかうテーマを発表しました。中山学長にも参加していただき、貴重な意見を伺うことができました。豊かな自然に囲まれた環境ということもあって勉強もはかどりました。その後、夕食は校内でバーベキューをしました。2日目は、竹田キャンパスに常駐されている前田先生の手ほどきで染物に挑戦（写真）。実り多い一泊二日の合宿となりました。



▶ SAEMON23（第37回清正公二十三夜祭歩行者天国） に参加しました

7月23日、大分市鶴崎で開催された「SAEMON23」に今年も多く芸文短大生が参加しました。5月にサービラーニングとして参加を呼びかけ、約100名の学生が集結。出店・エコ・デザイン・ダンスの4班に分け、毎週金曜の昼休みに企画運営会議を行いました。誰もが参加できるようにと、出店班は団扇づくりのワークショップや輪投げなどのゲームコーナーを、エコ班は会場内のゴミを持参してくれた人へ綿菓子配布するエコステーションを設置。どちらも列を成すほど大盛況でした。メインステージではデザイン班お手製の衣装を纏ったダンス班が、オリジナルの曲と振り付けで可憐に舞い、会場を魅了しました。

情報
コミュニケーション
学科

学長コラム

中山 欽吾

「地域との交流2題」

私がまだ子供だった頃、都市計画で大分市街の真ん中に昭和通りができて、今の市役所前の路上で盆踊り大会が開かれるようになりました。この盆踊りでは、主として優雅な猿丸太夫が踊られていて、活発な左エ門はあまり長時間踊れることはなかったと記憶しています

それまで記憶の薄かった左エ門が、ロック音楽で演奏できるように編曲され、若者達が踊るSAEMON23に生まれ変わったことや、芸文短大の学生達が企画段階から任されて、お祭りを盛り上げていることも、昨年参加して初めて知りました。閉鎖された国道いっぱいを使って踊る姿も音楽も素敵でしたが、本部の壁に掲げられた美術科のメンバーの描いた大きなイラスト、スタートの合図となった和太鼓サークルの熱演、美術、染色の出店での活躍や、大量のゴミを集めて分別整理したり、イベントの司会や運営を取り仕切った学生達の、実に生き生きとした活躍を目の当たりにして、子供時代の記憶が新たなSAEMON23に塗り替えられたのです。

あっという間に1年が経ち、今年もSAEMON23に行っ

てきました。酷暑の中、今年も芸文短大の出店が増えて大活躍。踊り隊やゴミの分別収集隊も自作のTシャツが輝いていました。

一方、竹田キャンパスでの活動も着実に進んでいます。生活造形の学生達が参加した交流会では地元の皆さんが運動場の真ん中に準備してくださった、でっかいキャンプファイアを囲んだ老若男女の盆踊りがご近所のおばちゃん達の指導で盛り上がる、素敵な一夜になりました。学生達が現場で枠作りからろうけつ染めで絵付けまでした100個近くの灯籠に火を入れて、同心円状に並べました。美味しい豊後牛と地元で採れた新鮮野菜でのバーベキューパーティでは、学生も教わりながら作ったおにぎりやお団子も食べ切れないほど。竹田市からは梅木副市長さんも駆けつけ、夜の更けるのも忘れて学校に賑わいが戻ったことを喜び合いました。

この竹田キャンパスでは、ゼミ合宿、ミュージカルの稽古合宿、韓国映画上映会など、本格的な利用が始まっており、改めてコミュニティの中心にある学校の持つ大切な役割を考えたことです。



似顔絵／小野 智子
（専攻科 造形専攻1年）

New
face新任
教員紹介

国際文化学科に新しいアメリカ人講師が着任

国際文化学科の新人教員のジュリー・ヌートバーと申します。アメリカのカリフォルニア出身で、ちょうど20年前に大分にきました。日本人の夫と中学2年生の双子とペット2匹で、にぎやかなファミリー生活を送っています。田舎にある夫の実家の近くに暮らしており、毎日、日米の文化比較を肌で体験し、楽しんでいます。国際交流員や大学教員を主として仕事をしてきましたが、翻訳や通訳の経験もあります。毎年、大分国際車いすマラソン大会のボランティアもしています。アジア研究、日本研究を専攻してきましたが、最近、欧米と比較して日本の入浴文化を研究しています。日本にきて間もないころの話ですが、職場の（日本人）上司の家に招かれ、食事をしながら楽しいひ

と時を過ごした後、「ジュリー、お風呂に入って帰らない？」と聞かれてびっくりしました。さらに数週間後、（日本人）同僚に「今度の週末、一緒にお風呂に入りに行こうか」と言われて、ショックを受けました。毎日、家のお風呂で体を洗っているのに、まさかキタナイと思われているのでしょうか。その後、少しずつ日本人とお風呂の深い文化がわかってきましたが、みなさんは、お風呂が好きですか。

これからは、日米文化比較やアメリカ研究、英語コミュニケーションなどを担当させていただきます。一緒に異文化理解や異文化間コミュニケーションを深めていきましょう。よろしくお願いいたします。

他大学に転出されたグレゴリー・グッドマーカ准教授の後任として、新たに国際文化学科にジュリー・ヌートバー講師が9月1日付で着任されました。



竹田 キャンパス



観客の目に涙 8月8日(日)「十二夜」竹田市文化会館公演



竹田キャンパス開設記念公演として、竹田市との共同主催で演劇公演を実施、首藤勝次市長をはじめ200名の観客が集まりました。シェイクスピアの原作を時代劇に翻案し、本学演劇サークルを中心に立命館アジア太平洋大学有志、竹田市の5つの小学校と中学校からも6人の児童が参加しました。「ラストに少し涙が…(40代女性)」「またぜひ観たい(60代男性)」「初めて時代劇を舞台で観ました。テレビよりずっと気持ちが伝わります(10代女兒)」等、100名以上の方が感想を寄せて下さいました。オペラを希望する声もあり、竹田キャンパスを利用しての定期公演も検討中です。

※「写真撮影 竹田市秘書広報係 江藤孝行氏」

竹田キャンパス通信

夜風にあたりながら運動場に出ると、暗闇に満点の星空が広がります。そんな星空を眺め、日々を涼しく過ごしております。この竹田キャンパスも動き始めて3か月少々、勉強会、交流会、合宿等が行われました。ゆっくりとはありますが、学生達の、地域のみなさんの新しい居場所になりつつあります。十二夜の演劇前日に竹田キャンパスに宿泊し、遊んでいた学生達が次の日になると「キリッ」とした演技を披露しているのを見て、みんな楽しく頑張ってるんだなあ、なんだか嬉しく思いました。これからも、もっとみんなが楽しめる、そんな場所になればと思っております。
(美術科非常勤講師 前田亮二)



地元の方との交流会(8月6日)▲



大分七夕まつりに参加しました

8月7日、大分市街地で開催された「大分七夕まつり」。本学の学生も、大分駅前から昭和通りまでの目抜き通りを歩行者天国とした「七夕ブロードウェイ2010」の様々な企画に参加しました。



第一部の特設ステージでは和太鼓・ジャグリング・ダンスサークルと、音楽科管楽器アンサンブルが出演。ステージ付近では綿菓子やかき氷、ボールすくい、輪投げなど子どもたちが楽しめる模擬店を出店し、会場を盛り上げました。第二部では「切手のない贈り物」のコーラスの演出に手話サークルが参加。ラストは朝から青年会議所の方と一緒に作り続けた1万個のバルーンリリース!市民の願いをのせて空を舞う風船はとても綺麗で、夢のあるフィナーレとなりました。



Oita Prefectural College of Arts and Culture



WELCOME TO NEPAL



前号に引き続き、情報コミュニケーション学科の留学生ゲワリ・マニ君に出身国のネパールについて紹介してもらいます。今回は主にネパール料理と物産品について教えてもらいます。

～ネパールの基本情報～

- 首都: カトマンズ
- 面積: 147,181平方km (日本の約3分の1)
- 共通語: ネパール語
- 時間: GMT+5.75H (日本とは3時間15分の時差がある)
- 通貨: NRP (Nepal Rupee)
- 国教: ヒンドゥー教 (世界でヒンドゥー教を国教としている唯一の国)
- 主な産業: 農業、観光
- 休日: 土曜日、祝日

ネパールの食べ物ならネパール料理と色々な民族料理が有名です。また、世界各国の有名な料理も食べることができます。飲み物はリンゴのお酒が有名ですが、ラッシという飲み物も外国人に人気があります。もちろん、ネパールにはたくさんのおいしい料理がありますが、隣接するインド、チベットから入ってきたものも多いです。

ダルバート

ネパールの主食は米。観光客の行くような都市部、トレッキングルートでは米(バート)の食事がメインになります。このバート(米)とダル(豆のスープ)、タルカリ(野菜)の三点セットがネパール人が主に食べる定食ダルバートです。



モモ

日本で言うギョーザのこと。店によって形等はずいぶん違い、日本で馴染みのある形の他、中には肉まんのような形をしたものまである。

チョウメン

焼きソバのこと。パフ(水牛)チョウメン、チキンチョウメン、エッグチョウメン、ベジタブルチョウメンなど。



ネパールのお土産なら手作りの伝統的なものが有名です。それからネパールの民族衣装も人気があると思います。歴史的、伝統的なものも買うことのできるのいいと思います。カトマンズの町を歩いているとパザールではいろんな物が売られています。セーター、タンカ、カーペット、スパイス、お茶、人形、サリー、仏像、絵ハガキ、Tシャツ、紙など、、、みなさん、ぜひネパールに来てください。



私の就職活動体験

～ミスカバーすることも大切～

松原 美里 (情報コミュニケーション学科2年)

私は、6月上旬に大分トヨペット株式会社から内定をいただきました。内定から2か月になりますが、当初から自動車業界への就職を希望していたので、今も内定の喜びをかみしめています。実は、最初に受けた会社は、緊張のあまり面接で失敗したので、今回は、気負わずリラックスして面接に臨みました。それがよかったと思います。

今回の就職活動の中で、エピソードが一つありました。それは、筆記試験と適性検査の後、履歴書を郵送することになっていたのですが、郵送してしまってから、履歴書に押印し忘れたことに気づいたのです。すぐに人事担当の方に電話を入れ、お詫びし、対応の仕方をたずねました。このミスが気になっていたのですが、最終面接が終わったときも、一言お詫びを述べて退室しました。すると、社内ですれ違った役員の方から「履歴書の子だね」と声をかけていただきました。私のことを覚えてくださったようでした。

就職活動では、一つひとつの手続きを確実に進めることが大切です。しかしミスにどう対応するか、それ以上に大切だと思いました。私の場合、ミスへの対応が案外プラスに働いたのかもしれない。自分のミスや不手際に対応することの大切さを学ぶことができた貴重な就活体験でした。



グレッグ先生からの Goodbye message

8月末で他大学へ転出された国際文化学科のグレッグ・グッドマーカー准教授からのお別れの言葉です。

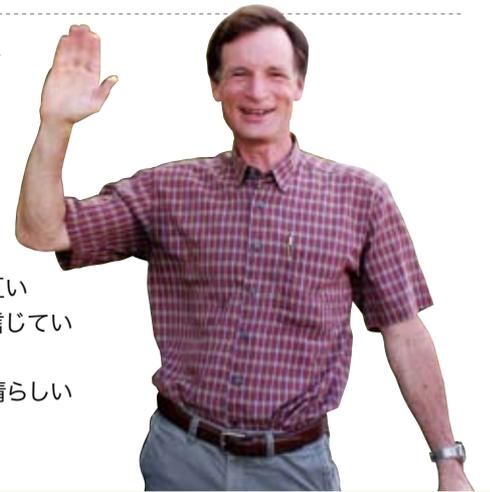
私が芸文短大に勤務してからおよそ5年半の月日が経ちました。アメリカの諺に「楽しい時間は早く過ぎる」とあるように、芸短で過ごした時間はあっという間に流れていきました。

私は、5つの国々で暮らした経験がありますが、日本でも4つの別々の場所に住んでいたことがあります。それぞれの場所に特別な思い出があります。大分では、自宅の裏庭で真竹や椎茸を採ったり、近くの海でアジを釣ってカボスをかけて食べたこともあります。大好きな地鶏炭火焼も大分で初めて食べました。他にも、九州の数々の酒を味わったり、久住阿蘇山をはじめ、多くの山に登ったりもしました。また、アメリカンフェスタやクリスマス交流会で学生や他の先生方と楽しい時間を過ごしたことも大切な思い出として強く残っています。そして最も印象的だったのは、大分にある約150もの温泉を制覇したことです。

別府の温泉を極める「温泉道」では、八湯ごとに段位が上がります。記念のタオルと認定状がもらえるのですが、私はその最上位である「温泉名人」のタオルを別府市からもらいました。温泉名人の証であるその黒いタオルを使うのは誇らしい気分でした。

次は新潟の大学で勤めることとなりますが、いずれは芸文短大とその新潟の大学で共同して行えるような活動を企画していけたらと考えています。日本中そして世界中の大学がお互い手を取り合って、より良い教育環境を整えることができると信じています。

新潟に来る機会があれば、ぜひ私にお知らせください。素晴らしい景色や温泉をご紹介しますよ。



芸文
短大

Information

2010. 10 [Oct.] ▶ 12 [Dec.]

第46回定期演奏会のお知らせ

今回の定期演奏会は、ベートーヴェン作曲交響曲第5番「運命」ほか、チャイコフスキー、ストラヴィンスキーの作品と、オーケストラの魅力存分に楽しめるプログラムです。

また混声合唱も、ジャズのスタイルの大変ユニークな作品です。



日時：10月11日（月・祝） 開場13:00 開演13:30

場所：iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ

入場料：無料（要整理券）

お問い合わせ：音楽科副手室（TEL：097-545-8758）

プログラム

【混合合唱】

チルコット作曲 リトルジャズミサ
ピアノ：後藤 秀樹（演奏員）
ドラムス：上別府 宙（専攻科音楽専攻2年）
コントラバス：古川 翼（専攻科音楽専攻2年）
指揮：森口 真司（教員）
合唱：大分県立芸術文化短期大学合唱団

【オーケストラ】

チャイコフスキー作曲
イタリヤ奇想曲
ストラヴィンスキー作曲
組曲「火の鳥」（1919年版）
ベートーヴェン作曲
交響曲第5番ハ短調作品67「運命」
指揮：森口 真司（教員）
管弦楽：大分県立芸術文化短期大学管弦楽団

第49回芸短祭～彩～

今年の芸短祭のテーマは「彩」。10月23日（土）・24日（日）の両日、各種ステージや出店、大抽選会、無料お笑いライブ（23日13:00～ゆっぴ、24日11:30～アジアン、メガモッツ）など盛りだくさんの内容を予定しています。

また昨年に続き、10月30日（土）17:40から市中心部ガレリア竹町ドーム広場で、「第2回芸短祭竹町ファッションショー potential」を実施します。学校の敷地を飛び越えた芸文短大生の若い力に乞うご期待！

平成22年度 学内ギャラリー後期の展示日程

1. 小野*中島二人展—和風—（専攻科造形専攻1年） 9月27日（月）～10月8日（金）
2. 甲斐博昭展（美術美術専攻2年） 10月11日（月）～10月22日（金）
3. 稲垣由紀展（美術科美術専攻2年） 10月25日（月）～11月5日（金）
4. 林田晴菜展（専攻科造形専攻1年） 11月8日（月）～11月19日（金）
5. 古閑大貴展（美術科デザイン専攻2年） 11月22日（月）～12月3日（金）
6. 石井彩 他展（美術科デザイン専攻2年） 12月6日（月）～12月17日（金）
7. センコウカ*1展（専攻科造形専攻1年） 1月10日（月）～1月21日（金）
8. 瓜生香苗展（専攻科造形専攻2年） 1月24日（月）～2月4日（金）

創作劇「ラファエロ～ルネッサンスの彗星～」

日時 12月19日（日） 開場17:00 開演18:00

場所 iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール

共通教育科目「創作表現」の履修者を中心に、4学科+専攻科の学生による創作演劇公演。今年、ルネッサンスを代表する画家であり建築家であるラファエロ・サンティの生涯を、音楽を散りばめた舞台でお届けします。37年という短い生涯の中で、ダビンチの教えを受け、ミケランジェロからも多くを学んだ彼は、それまでの芸術手法を統合・洗練した総合芸術の天才といわれています。彼の幼少期からその死まで、「優しさ」の奥に秘めた激しい情熱を表現する創作劇となっています。

10月 October / 神無月

- 1日[金] 学生があなたに贈る『私がこの本、選びました!』コーナー（～12月24日）
- 4日[月] ふるさとスケッチ2 in 杵築
第1回竹田キャンパス美術展～卒業生合同展（～17日）
- 8日[金] 月曜振替日
- 9日[土] 第3回学長プロジェクト「手織りの魅力～誰でもできる織り物ワークショップ～」(～23日)
- 11日[月] 体育の日 第46回音楽科定期演奏会
- 21日[木] 大分県立芸術文化短期大学 美術科所蔵/卒業・修了作品展（～11月15日）
- 22日[金] 芸短祭 前夜祭
- 23日[土] 第49回芸短祭～彩～（～24日）
第4回ホームカミングデイ
公開国際理解ワークショップ&パネルトーク「Think Globally, Act Locally in Oita!～大分から考えよう!一杯のコーヒーを通して見える私たちと世界のつながり」
国際交流写真展（～12月31日）
- 27日[水] 後期授業料納入期限
- 30日[土] 国際文化フェスタ in 竹町 芸短祭ファッションショー potential
第5回東アジア国際現代音楽祭 in 大分・第30回九州・沖縄現代音楽祭（～31日）

11月 November / 霜月

- 2日[火] 大分県立芸術文化短期大学 専攻科造形専攻学生作品展（～7日）
- 3日[水] 文化の日
- 4日[木] 第4回学長プロジェクト JICA理事・黒田篤郎氏講演
「アジアは一つになれるのか～東アジア共同体の行方」
公開講座「中国語の発音と挨拶語入門」（～12月3日）
- 5日[金] 上野の森アートフェスティバル（～7日）
- 6日[土] 日本ポルトガル修好150周年記念府内南蛮ゼミナール（～14日）
- 9日[火] 第1回「長湯温泉」日韓短編映画祭（～14日）
- 12日[金] 勤労感謝の日
- 23日[火] コンサートシリーズNo52 ピアノコース演奏会
- 24日[水] 宮本修「冬の旅」独唱会
- 27日[土] ふるさとスケッチ3 in 宝泉寺
スローライフ講座 - 竹田食育ツーリズムのHP発信（～12月19日）
- 29日[月] GEITAN presents The Great Artists
木下美穂子ソプラノリサイタル

12月 December / 師走

- 1日[水] 小林道夫客員教授 声楽特別講座
- 4日[土] 第3回イタリア映画と音楽の会
- 9日[木] オペラサークルOpera Piena di Vita公演
「コジ・ファン・トゥッテ」全2幕
- 10日[金] 佐藤美枝子声楽公開レッスン
演出家に聞く[Ⅲ]
- 13日[月] ふるさとスケッチ作品展（～19日）
- 15日[水] コンサートシリーズNo53 管弦打コース演奏会
- 17日[金] パーカッショングループミレニアム12thコンサート
- 19日[日] 創作劇ラファエロ「ルネッサンスの彗星～」
- 21日[火] キャンドルナイト - 映画と灯り
- 23日[木] 天皇誕生日
- 25日[土] 冬期休業開始

★ Calendar 芸文短大カレンダー

編集後記

学生たちにとって秋とは、ともすれば持て余してしまう内に秘めた若き力を外に向けて爆発させる時期ともいえます。彼、彼女たちのフェスタが、不確かな未来に踏み出すための大きなきっかけになればと願ってやみません。

次号のお知らせ

Epistula vol.22 「冬物語」は、2010年12月下旬発行予定です